

乳児の顔面腫脹と母親の皮膚症状に対して親子で治療した母子アトピーの経過 (10 か月・成人 男児・女性)

症例 ID：001-00-TTa | 記録日：不明

1. 診断・治療前経過

男児は 10 か月時、食後約 30 分で顔が赤くなり、目と耳が強く腫れ、耳から浸出液が出ました。翌日、皮膚科でアトピーと診断されました。母親にも小児期からアトピー症状があり、親子で松本医院を受診されました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	男児にかゆみ止め内服薬とステロイド外用薬が処方されましたが、母親は使用を避けました。
製品名	不明です。
強度	不明です。
使用期間	処方のみで、使用の有無は不明です。
中止時期	松本医院受診前後です。
来院前／後	来院前に処方歴があります。来院後の使用はありません。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
10 か月時	急性症状	食後に顔面、眼周囲、耳が腫れ、耳から浸出液が出ました。
翌日	他院受診	アトピーと診断され、内服薬とステロイド外用薬を処方されました。
その翌日	治療開始	母子で松本医院を受診し、漢方入浴などを開始しました。
2～3 日後	一時的変化	親子とも皮膚が滑らかになりました。
その後	症状の波	発疹と乾燥が一時的に強くなりました。
治療 4 か月	経過後	男児は足首の乾燥を残すのみとなり、顔と体は滑らかな状態となりました。母親の夏季症状も軽減しました。

4. ピーク時期

ピークは、10 か月時に顔面と眼・耳周囲が著しく腫れ、耳から浸出液が出た時期です。

5. 困りごと

- 男児が泣きながら顔を衣類へこすりつける状態でした。
- 親子分の入浴処置と通院を続ける必要がありました。

6. 経過のまとめ

治療 4 か月後、男児は足首の乾燥を残すのみとなり、顔と体の皮膚は滑らかな状態となりました。母親にも例年の夏より症状が軽い変化がみられました。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。